

こうのとり通信

～兵庫県助産師会だより～

一般社団法人 兵庫県助産師会
第5号(17) 平成27年2月28日発行

(発行部数 500部)

発行責任者 岸本 喜代子

編集責任者 金川 景子

神戸市中央区花隈町9-25

グラン・ピア下山手通 003

TEL : 078-362-1310

FAX : 078-362-2737

<http://hyogo-josanshikai.com/>

ごあいさつ



一般社団法人 兵庫県助産師会
会長 岸本 喜代子

立春を過ぎても、まだ寒さきびしい日が続いており、温かな春の陽が特に待ち遠しく思います。

皆様にはそれぞれの場でご活躍のことと存じます。会長に就任し、4か月がたちました。あっという間のようにもあり、随分と時間がたったようでもあります。その間、多くの方々がこの会を支え盛り立ててくださり心より感謝申し上げます。

さて、今年2月から兵庫県と神戸市の委託を受けて「思いがけない妊娠SOS」電話・メール相談、県の委託を受けて新生児聴覚検査関連事業がいよいよ始まりました。また、兵庫県委託事業の児童虐待予防の研修も回を重ねております。

母と子に様々な場で、様々な時期に切れ目ない支援をするために助産師がそれぞれの場で活躍するだけではなく、今まで以上に助産師同士との連携が必要とされています。そのためにも、助産師会での研修に積極的に参加し、各々の資質向上だけではなく、顔の見える関係をつくっていただき、お互いに力を合わせて母と子の支援を実践できるようになっていただきたいと願っています。

平成27年度は兵庫県が近畿地区研修会の担当県となっています。講師交渉はもちろんですが、せっかく神戸に来ていただくのだからと、KOBEらしさを出していきたいと会場や親睦会もこだわって企画中です。

兵庫県助産師会の成長と発展には、多くの会員の声と力が必要です。皆様のご意見・ご協力・ご参加をお願いいたします。

部会だより

〈助産所部会〉

部会長 稲生 佐枝子

兵庫県内には、現在 19 ヶ所（うち 1 ヶ所はお産を休業中）の助産所があります。隔月で開催している助産所部会で情報交換をしています。経験豊富な大先輩が在籍されており、貴重なお話を伺うこともあります。助産所では一人の妊婦さんに妊娠中から、出産を経て育児に至るまで継続的に関わります。最近、産褥入院で助産所を利用される方が増えてきています。産院を退院後、自宅に帰るまでのワンステップとして家庭的な助産所で育児に慣れ、養生ができるようです。神戸市では産後ケア事業が始まり、市内の助産所が委託を受けています。「ちからアップ」研修生の実地研修も受け入れています。兵庫県内で助産所の開設を考えていらっしゃる方は開設の相談をお受けすることができますので、まずは助産所部会にご相談ください。地域で母子支援ができる場所が増えることを期待します。

〈保健指導部会〉

部会長 岸本 喜代子

今年度、勤務部会から保健指導部会に移り、保健指導部会の活動がよく理解できないまま、会長兼任でどこまでできるか正直不安を抱えながら、11月に頼田前部会長から引き継ぎました。他に引き受けてくださる役員がいなかったため兼任となった訳ですが、保健指導部会員が今後どのような形で部会活動していくことが持続可能となるのか、考えた期間でもありました。前年度まで定例会・部内研修会が年5～6回あり、活発に部会員の交流と資質向上を図っていただけに、そういったことができず申し訳ない気持ちです。

平成 25 年度の「電話相談研修」「望まない妊娠に関わる専門職研修」が、平成 27 年 2 月よりスタートした「思いがけない妊娠 SOS」の電話・メール相談につながっています。平成 26 年度から始まった児童虐待予防の研修が、何年後かに形になって母子支援につながると思います。そのためには持続した会の活動が必要です。そして会員の力を結集し刺激し合うことで、より高め合いながらよりよい活動ができるのです。

次年度から新しい役員での活動を考えておりますので、ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

〈勤務助産師部会〉

部会長 総毛 薫

私たち勤務助産師部会は、兵庫県助産師会の中でも多くの会員の方が在籍されている部会です。助産師会に入って良かったと思っていただき、さらに多くの方が入会して頂けることを目標に活動しています。

教育委員会主催の研修会も充実している中、勤務助産師部会主催の研修会の在り方を考えてきました。施設で働いている私たちにとって、他施設の現場を見学したり、ケアを直接見たり共有する機会は退職して新しい職場に移らなければ難しい状況です。「他の施設はどうしているの?」「あの病院の現場を見てみたい」そのような声が多く聞かれる中、施設に出向いてケアを見学したり学んだりする研修会を開催することを決めました。第 1 回目は「院内助産を語ろう」を関西労災病院において、第 2 回目は「BFHI (赤ちゃんに優しい病院) を学ぼう」を赤穂市民病院で企画・開催しました。研修に参加される方、実施して下さる方双方にとって、自らのケアを振り返り、新たな目標に取り組むパワーを生みだすことができる研修会にしたいと考えています。

災害安否確認訓練のご報告

2月3日の災害に対応する訓練（会員の安否確認）では、皆様お忙しいにもかかわらず、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

この災害に対応する訓練は、毎年2月第1火曜日を定例として実施しています。3回目となる今年度の目的は、①各都道府県助産師会会長から地区理事を通じて日本助産師会に安否確認を報告するルートの確立をめざす、②助産師会会員が災害に対して意識を高く持つことができる、としています。

平成26年度の報告です。対象会員数126名中、安否確認のとれた会員は117名（92%）でした。報告終了までに要した時間は59時間でした。なかなか連絡が取れない会員もおりましたが、全会員の安否確認にご尽力くださり、本当にありがとうございました。

「災害は忘れたころにやってくる」と言いますが、毎年災害のニュースが流れている昨今では「災害はすぐやってもおかしくない」状況です。そのため日ごろから会員の皆様の安否確認を心がけておくのは大切なことと考えます。現実に災害がないことを祈りつつ、ご報告とさせていただきます。



公共事業推進委員会報告

公益事業推進委員長 國廣晴美

子育て・女性健康支援センター事業として、電話相談、生田文化会館でのベビーマッサージ・育児相談、平和堂育児相談、赤ちゃん本舗マタニティ教室などの事業を会員の皆様のご協力をいただき引き続き実施しています。

平成26年度新規事業として、兵庫県委託「助産師による児童虐待防止対策の充実・強化事業」により、2回の研修会の開催と子ども虐待防止教材（リーフレット）の作成を進めているところです。第1回研修会『助産師が行う児童虐待の予防～本気で伝えよう赤ちゃんの愛し方～』（11月開催）を受け、第2回研修会『周産期からはじめる児童虐待の予防～本気で伝えよう赤ちゃんの愛し方～』（2月）を開催します。子ども虐待防止リーフレットは出産施設及び市区町での新生児訪問時に産後早期の方への配布できるよう準備を進めています。

また、平成26年度兵庫県・神戸市の委託による「思いがけない妊娠SOS事業」が2月27日よりスタートします。この事業は、思いがけない妊娠・出産に悩む方からの電話・メール相談事業です。相談者への情報提供や必要とする支援につなぐことにより、妊婦の孤立化を防ぎ妊娠期からの虐待防止を図る事が目的です。

昨年秋には「人材登録票及び助産所マップ掲載届」を提出いただきありがとうございました。人材登録票は会員の皆様のご意向として、子育て・女性健康支援センター事業充実のために活用させていただきます。なお、人材登録票は随時受け付けております。

これからも子育て・女性健康支援センターの事業にご協力いただけますようお願いいたします。

ブロック代表・専門部会長・理事会 合同会議報告

ブロック・部会担当理事 毛利 多恵子

平成 27 年 1 月 11 日、平成 26 年度第 1 回合同会議を開催しました。参加者はブロック代表 7 名、部会長 3 名、理事 7 名、監事 1 名でした。

理事会からの説明・報告

新役員登記が完了したこと、助産師資質向上支援事業の補助金について、上田弓子様からの寄付について、定款の見直しの必要性について、近畿地区研修会の企画について、虐待研修について、妊娠 SOS について、ホームページの充実と改善について、教育委員会から研修について、助産所安全管理評価・IT 化による分娩データ収集について、災害時安否確認訓練について、連絡の予定、マップ人材登録票について、会員動向と組織図について、産後ケア事業について

監事からの意見：今年度は選挙があり、新体制になるまで半年ほどかかったが、新理事会は鋭意運営してきた。

各ブロック報告および意見・要望

- ・選挙について：ブロック推薦のあり方や意見の集約方法をはじめ、選挙方法の見直しが必要。
- ・ブロック内の連絡について：参加者が決まっている。連絡網の整備が必要。
- ・助産師会について：会との距離が遠く、会員である事の価値やメリットが感じられない。会費が高く、看護協会など複数の会に入ることが難しい。通信費が高い印象があるため、メールでの連絡も考慮してほしい。クリニカルラダーとの関係をもたせてほしい。

各専門部会報告および意見・要望

- ・助産所部会
各月で部会を開催し、メーリングリストも活用している。出産数の変動が出てきている。産後ケア事業で行政とのつながりが密になっている。災害対策、安全対策について各助産所での見直し確認を行っている。
- ・勤務助産師部会
役員 7 名で活動している。病院間の人事交流を兼ねて、地方での研修を行っている。観光と合わせた研修も計画中。新人研修もカフェとして実施した。
部会員 200 名の安否確認は難しい。今後の体制を検討してもらいたい。
今後も部会員の望む研修の機会を一つでも実施したい。また、組織強化で会員増加への取り組みを行っていく。
- ・保健指導部会
保健指導部会は現在立て直し状況である。



県の補助金交付に伴う補正予算計上のご報告

会計担当理事 井上 千秋

兵庫県健康福祉部補助金交付要綱に基づいた、平成 26 年度の助産師資質向上研修支援事業補助金 1,000 万円の交付に伴い、補正予算を計上しましたので皆様にご報告します。

補助事業の目的は、「キャリアを形成のための体系的な研修の提供、所属施設による実務経験の偏りを是正するための施設間交流・実習の実施、助産所の開設につながる助産師の実践能力の強化の支援により、安全、安心、快適なお産の場の提供を図る」ことです。内容は、①日本看護協会「クリニカルラダー」に準拠した研修 ②新生児聴覚検査研修に用いる検査機器整備コースです。経費の内訳は、①研修 100 万円×4 コース ②研修機器 300 万円×2 台です。

申請に当たっては「助産師のちからアップ」研修の各プログラムをクリニカルラダー別に整理し、新たに 3 月 7 日開催予定の新生児聴覚検査研修（購入予定の聴覚器検査機器 2 台を使用）を組み込みました。この研修では、新生児聴覚器検査の必要性和早期発見による支援が子どもの発達に与える影響についての講義と、今回購入の聴覚器検査機器 2 台（ネイタスアルゴ 3i）を使用した検査の実技演習が行われます。皆様、ぜひご参加ください。

今回の補助金事業に関する決定通知が昨年末であり、2月初めまで運用条件について細かなやりとりが続き申請手続きに手間取ったため、皆様へのお知らせが遅くなりましたこととお詫びいたします。なお、補正予算に関しては平成26年度補正収支予算をご覧ください。

平成26年度補正収支予算

平成27年2月15日

平成26年度予算	補正前	補正額	計	説明
I. 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	3,000	0	3,000	
② 入会金収入	150,000	0	150,000	
③ 会費収入	3,500,000	0	3,500,000	
④ 補助金等収入	4,065,000	10,000,000	14,065,000	平成26年度助産師資質向上研修支援事業
⑤ 事業収入	4,331,000	0	4,331,000	
⑥ 寄付金収入	50,000	1,000,000	1,050,000	会員から使途限定した寄付100万円
⑦ 雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	12,099,000	11,000,000	23,099,000	
2 事業活動支出				
① 会議費支出				
(1) 総会費	220,000	0	220,000	
(2) 理事会費	170,000	0	170,000	
(3) 部会費	144,000	0	144,000	
(4) 委員会交通費	317,000	0	317,000	
(5) 本部等 他機関 連絡会議費	129,000	0	129,000	
(6) 選挙関連費	35,000	0	35,000	
② 人件費				
(1) 給料手当	2,239,800	0	2,239,800	
(2) 講師料	1,800,000	150,000	1,950,000	新生児聴覚検査の基礎知識研修等講師料
(3) 法定福利費	15,000	0	15,000	
(4) 通勤手当	120,000	0	120,000	
(5) 慶弔金	30,000	0	30,000	
③ 管理費支出				
(1) 旅費・交通費	596,000	200,000	796,000	平成26年度助産師資質向上研修支援事業関連会議等交通費
(2) 事務用消耗品費	271,500	616,500	888,000	平成26年度助産師資質向上研修支援事業関連事務用消耗品
(3) 備品費	360,000	9,399,500	9,759,500	平成26年度助産師資質向上研修支援事業関連機器整備
(4) 交際費	228,000	0	228,000	
(5) 通信運搬費	916,800	100,000	1,016,800	平成26年度助産師資質向上研修支援事業関連通信運搬費
(6) 水道光熱費	200,000	0	200,000	
(7) 事務所維持管理費	614,520	0	614,520	
(8) 賃借料費	833,500	0	833,500	
(9) 顧問料	473,040	0	473,040	
(10) 支払手数料	118,800	0	118,800	
(11) 租税公課	100,000	0	100,000	
(12) 印刷製本費	1,450,000	▲ 466,000	984,000	公益の1事業の開始が2月となったため
(13) ホームページ関連	180,000	0	180,000	
(14) 保険料	200,000	0	200,000	
(15) 雑費	7,040	0	7,040	
④ 予備費				
	330,000	0	330,000	
⑤ 事務所用積立金				
		1,000,000	1,000,000	寄付金100万円
事業活動支出計	12,099,000	11,000,000	23,099,000	
事業活動収支差額	0	0	0	

産後ケア事業が始まりました

産後ケア委員会 委員長 永原 郁子

産後ケア委員会では昨年度に引き続き産後ケア事業を進めていくために、会員に対して産後ケア受け入れ可能の有床無床助産所のアンケート調査をしました。これまでの活動が昨年 11 月からの産後ケア事業に結びつきました。詳しくは「産後ケア事業」のご案内（神戸市ホームページ「神戸市産後ケア事業のご案内」）をご覧ください。

また、平成 27 年度近畿地区研修会でも詳しく神戸市の取り組みを報告いたします。是非、研修会にご参加ください。

産後ケア事業では、妊娠・出産・育児期までの切れ目のない子育て支援の強化を図るとともに、安心して子どもを産み育てられる環境を整えていきます。

産後の育児不安が強い方で、家族等からの支援が得られない場合に、宿泊または通所で母子の心身のケアや育児サポートを行います。



ちからアップ研修が終了しました

教育委員長 谷口 真紀

平成 26 年度、教育計画として「助産師のちからアップ」研修と「助産師特定」研修の二本柱で進めてきました。助産師の能力向上を目的として企画している「助産師のちからアップ」研修は再開して、今年度で 2 年目を迎えました。

委員会では、助産師自身のスキルアップはもちろん、院内助産や地域での開業準備を視野に入れた内容として、即実践できること、且つ魅力的な講師陣であることをモットーに計画しており、今年度もたくさんの参加がありました。「助産師のちからアップ」研修には 12 研修を計画し、全コースの参加者は 11 名と、単発コースの参加者と合わせても、どの研修も県内、県外含め多くの方が参加してくださいました。尚、平成 26 年度の研修報告はスナップ写真を添えてホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

平成 27 年度の研修計画もほぼできあがりしました。来年度も、今年度同様、興味深い研修内容を準備してまいります。また、助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の申請に必要な研修も計画しております。さらに、秋には近畿ブロック研修会が兵庫県で開催され、そこでも魅力的な研修を予定しています。皆様の研修への参加をお待ちしています。研修のご案内は 4 月にお届けする予定ですが、ホームページでもお知らせしますので、是非ご覧ください。



〈全コース修了式：岸本会長を囲んで〉

～平成26年度「助産師のちからアップ」研修 全コース受講生の声～

- 本当に力アップになりました。学んだことはすぐに実践に活用し、またその活用が学びにつながりました。
- これから学んだことを生かしていけるように、学んだことを振り返り他のスタッフにも広めていきたい。
- 実演できる研修が多くあったので、理解しやすくなった。
- いろいろな先生のいろいろな角度からの話が聞けて楽しかった。
- 助産外来に活かしたい。



次年度は、「助産師のちからアップ研修」に加え、「日本助産師会近畿地区研修会 in 兵庫」も開催予定です。会員の皆様のご協力のもと研修会を充実させ、兵庫県助産師会はさらに「ちからアップ」します。



平成27年度近畿地区ブロック研修会

平成27年度 日本助産師会 近畿地区研修会 in 兵庫

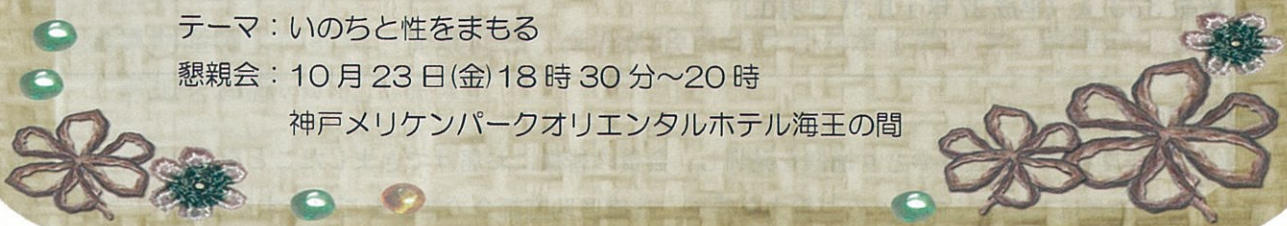
日程：平成27年10月23日(金)～10月24日(土)

場所：神戸ハーバーランド 神戸市産業振興センター

テーマ：いのちと性をまもる

懇親会：10月23日(金)18時30分～20時

神戸メリケンパークオリエンタルホテル海王の間



日本助産師会通常総会・兵庫県助産師会通常総会のご案内

平成27年度 日本助産師会 通常総会

テーマ：伝統の技・魂の伝承 一京都から助産師の発信一

日程：平成27年5月21日(木)～23日(土)

会場：立命館大学朱雀キャンパス

ホテルグランヴィア京都

会の発展には会員の皆様のご意見・お力添えが必要です。
是非、ご出席ください！

平成27年度 兵庫県助産師会 通常総会

日程：平成27年5月16日(土)

会場：兵庫県私学会館



ご寄付のお礼

会員の上田弓子様より、「将来、事務所を大きくするのに役立てていただきたい。」と、100万円のご寄付をいただきました。深く感謝申し上げます。上田様のご厚意を大切に、将来有効に使用させていただく所存でございます。一社)兵庫県助産師会として、今後も女性と子ども、会員のためにより一層の努力をまいります。

年会費の
自動引き落としに
ご協力ください

平成27年度会費を引き落とします

住所や連絡先、勤務先等に変更がある方、年会費の自動引き落としの申し込みは事務局までお願い致します。

会員総数 333 人 (平成27年1月31日現在)

新規会員募集中!! (まだ入会されていない方に入会をお勧めください)

編集後記

平成26年度初めてのこのとり通信を発刊し、会員の皆様にお届けできましたことをうれしく思います。会長、各部会長はじめ多くの方々のご協力を得て、兵庫県助産師会の活動をご報告することができました。今後も活発な活動を皆様にお伝えしていきたいと思っております。

広報委員